

<報道発表資料>

令和元年 医師の勤務実態調査 <概要>

順天堂大学医学部公衆衛生学

谷川 武

1. 目的

2024年4月の医師に対する時間外労働上限規制適用前においても、医師の時間外労働の状況やその分布等の実態把握は不可欠であることから、平成28年に実施した厚生労働科学特別研究事業である「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（研究代表者：井元清哉）」と同等規模の勤務実態調査を行う。

2. 研究班

研究課題名：「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究」

研究代表者：小池 創一（自治医科大学 地域医療学センター 教授）

研究分担者：松田 晋哉（産業医科大学 公衆衛生学教室 教授）

松本 正俊（広島大学 医学部 教授）

今中 雄一（京都大学大学院 医学系研究科 教授）

康永 秀生（東京大学大学院 医学系研究科 教授）

堀口 裕正（国立病院機構 総合研究センター診療情報分析部 副部長）

◎谷川 武（順天堂大学大学院 医学系研究科 教授）【調査担当】

3. 調査期間

令和元年9月2日（月）～8日（日）

4. 調査対象

【施設調査票】 配布施設19,112施設（前回調査（H28）12,035施設）

【医師調査票】 紙媒体配布部数141,880部（前回調査（H28）149,112部）

webでも回答できるようなページを作成し、周知。

5. 調査内容

性別・年齢・診療科・主たる勤務先種別毎の医師の1週間の労働時間（診療、診療外の別を含む）、タスク・シフト/シェアの取り組み状況等の調査を行った。

5. 回収数

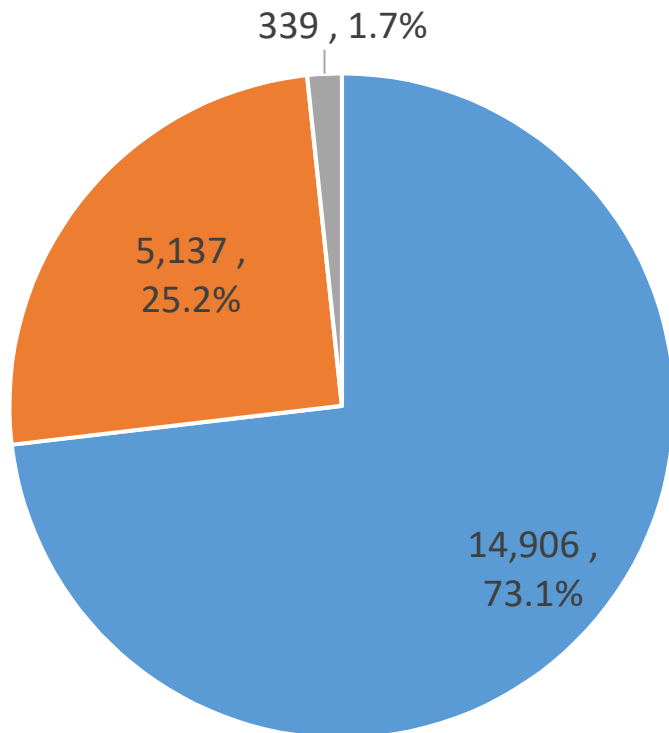
【施設票】 3,967施設（回収率20.8%）

【医師票】 20,382人（WEB回答者含む）

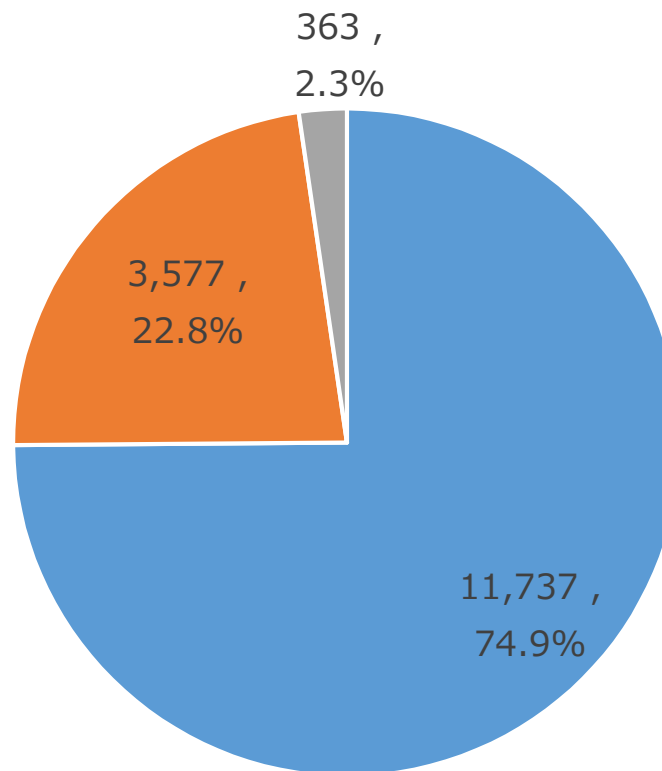
回答者背景 性別の割合<全体>

- 今回調査は、WEB回答を含む医師調査票回答者数。
- 前回調査は、平成28年厚生労働科学特別研究事業「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究(研究代表者:井元清哉)」(以下、「H28前回調査」という。)の回答者数。
- 三師統計は、「平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計」(以下、「H30三師統計」という。)の医療施設従事者数データ。
- 今回調査は、H28前回調査及びH30三師統計と性別の割合はほぼ同一。

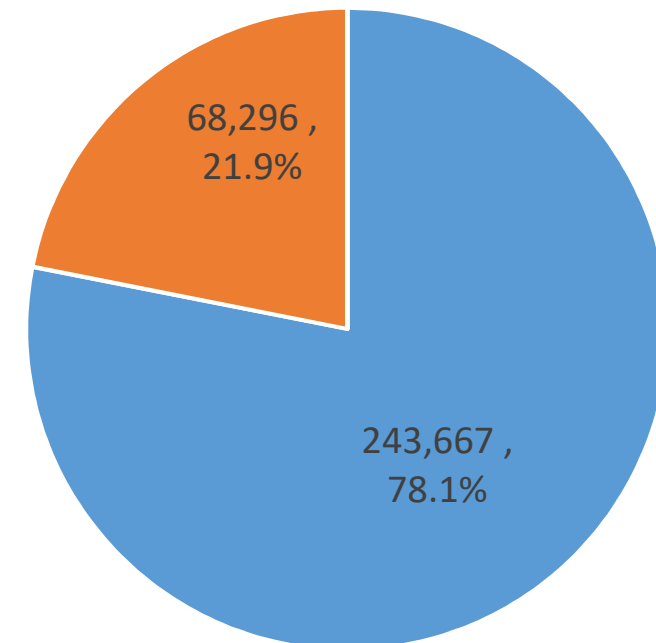
今回調査
N=20,382



H28前回調査
N=15,677件



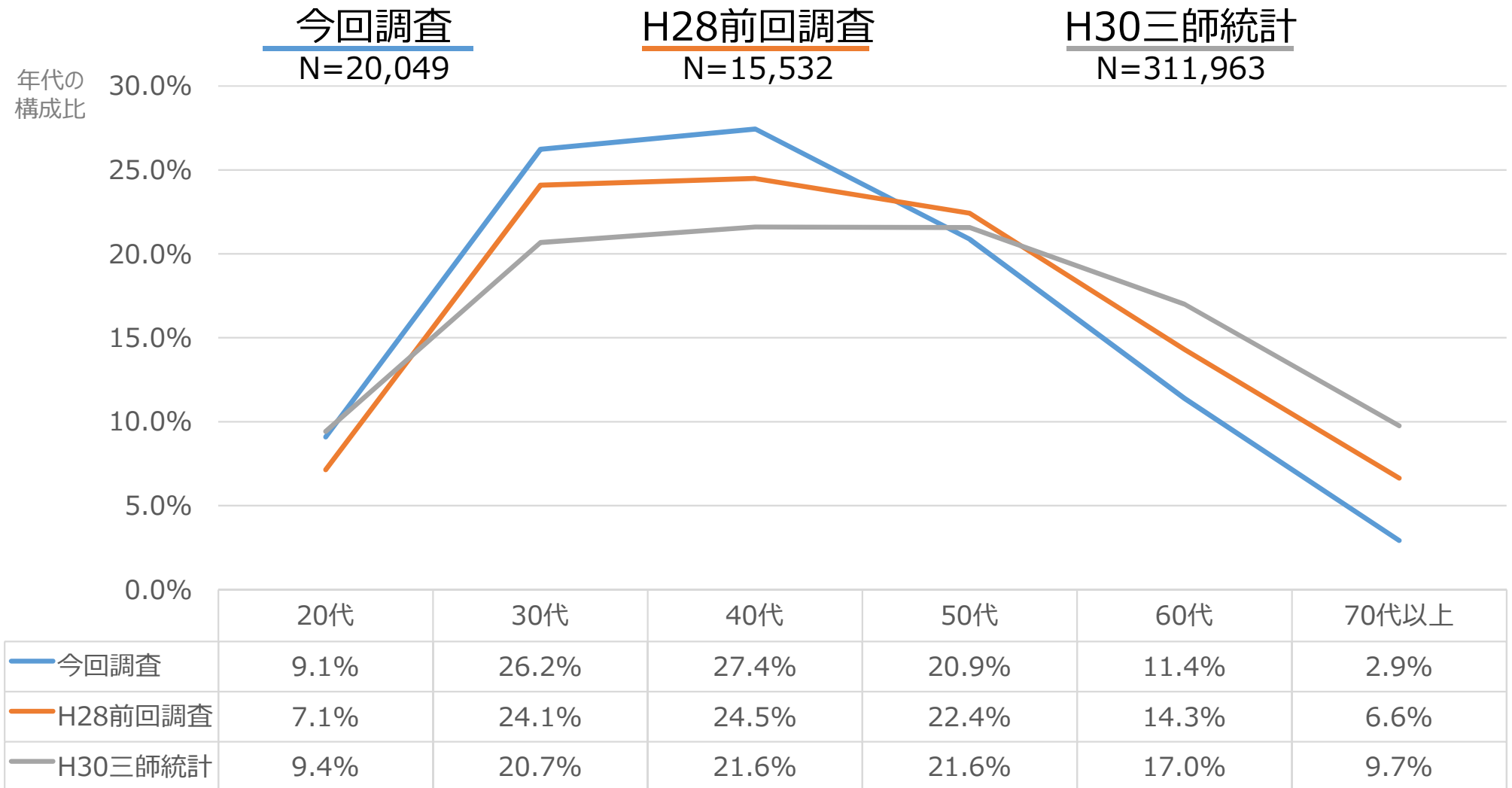
H30三師統計
N=311,963件



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

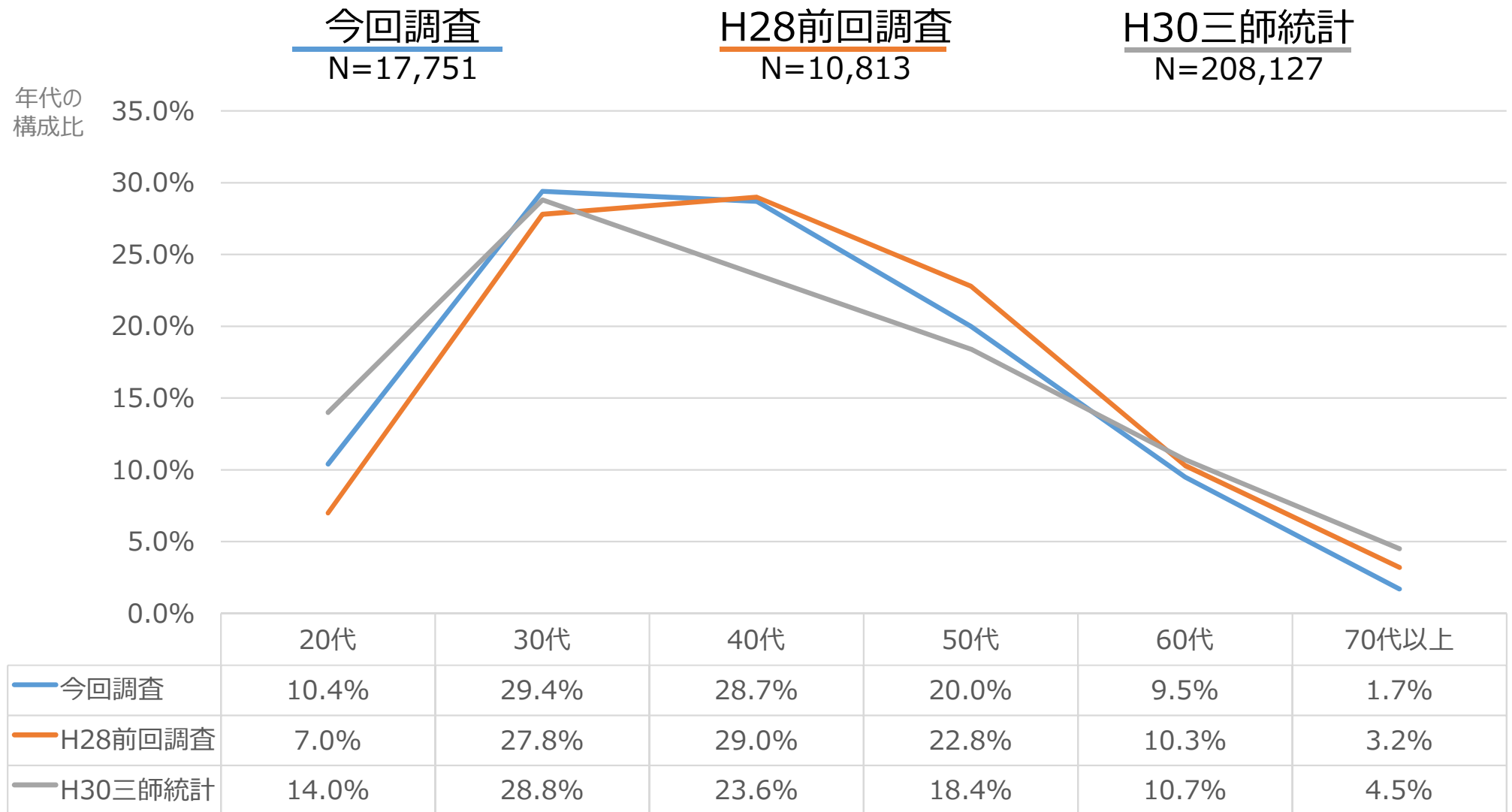
回答者背景 年齢分布〈全体〉

- 病院・診療所を含めた、回答者の年齢分布割合での比較。
- 今回調査並びにH28前回調査では、年齢の無回答者を除く。
- 今回調査は、30代・40代の回収率が高く、60代以降では低い。



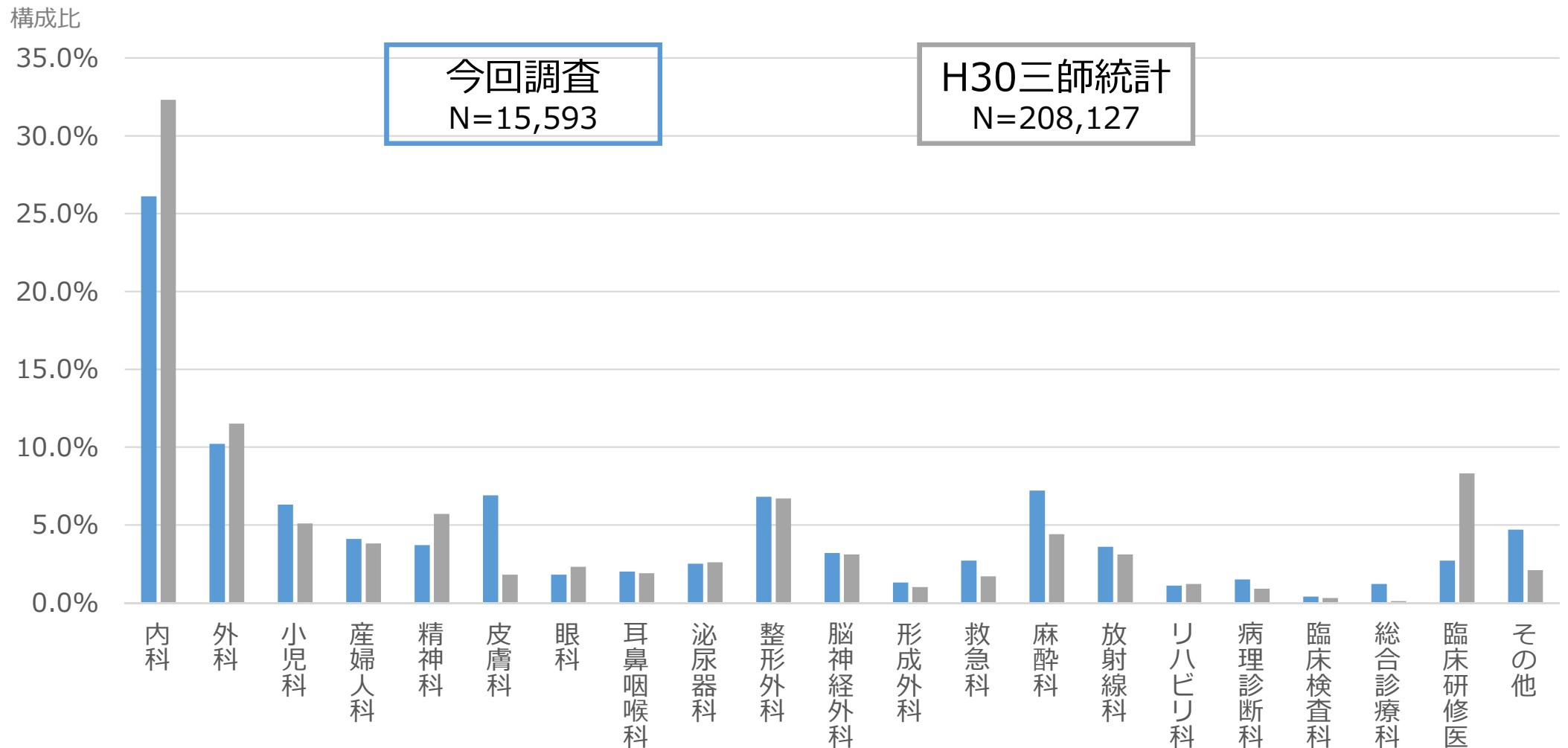
回答者背景 年齢分布〈病院・常勤勤務医〉

- 病院勤務者の年齢分布割合での比較。
- 今回調査は、病院（大学病院・大学病院以外）・常勤勤務と回答した全回答数。（年齢無回答者を除く）
- H28前回調査は、常勤・勤務医と回答したものの。
- H30三師統計は、病院従事者数データ。
- H30三師統計と比較すると、40代の回答が多い。



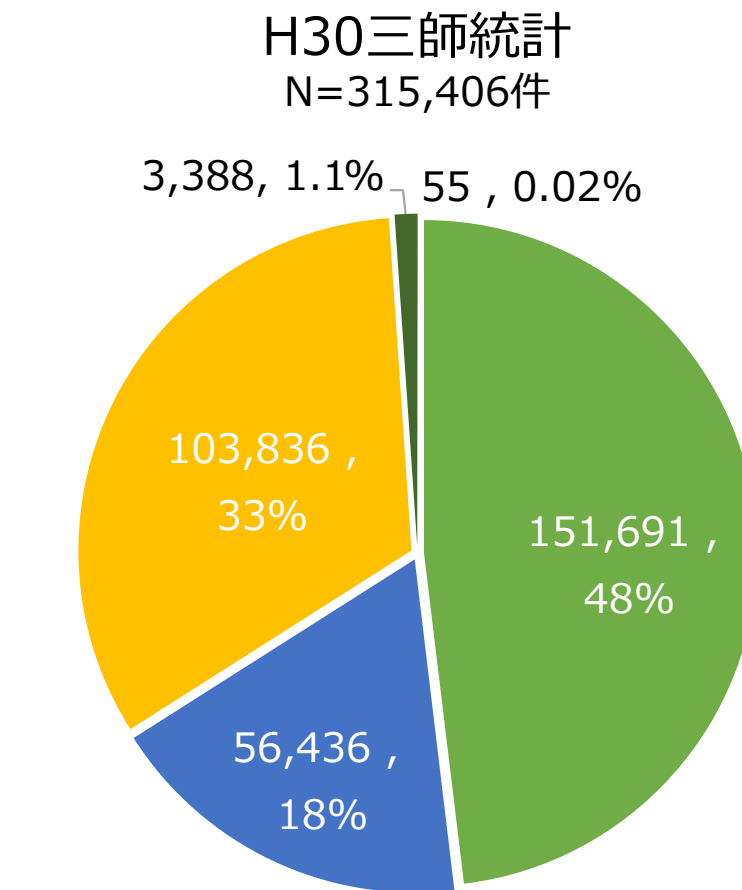
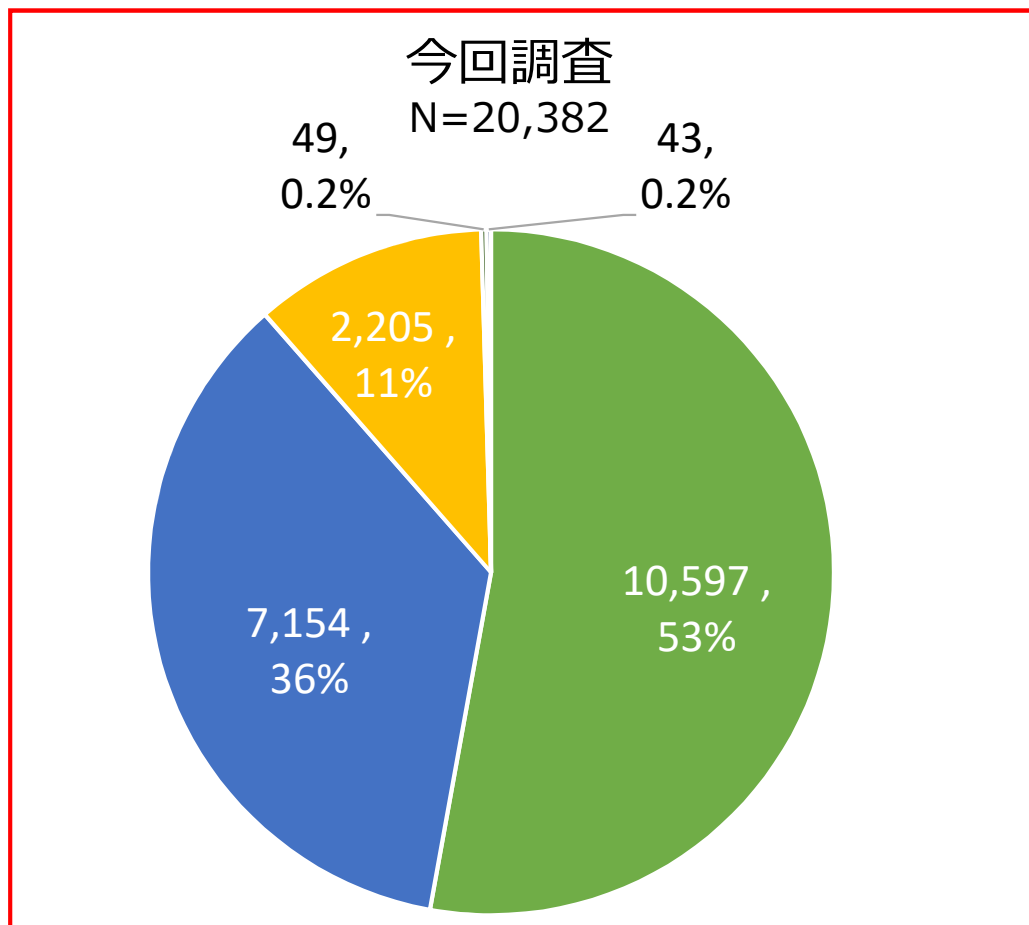
回答者背景 主たる診療科分布〈病院・常勤勤務者〉

- 病院勤務者の診療科別での比較。
 - 今回調査は、病院（大学病院・大学病院以外）・常勤勤務と回答した全回答者数。（診療科無回答者を除く）
 - H28前回調査の設問は、19診療科ではないため、比較不可。
 - H30三師統計は、病院従事者数データ。
- H30三師統計の結果と比較すると、いくつかの診療科で大きくばらつきがある。



回答者背景 主たる勤務先分布 <全体>

- 医療施設に勤務する者を対象に、主たる勤務先分布を比較。
 - 今回調査は、WEB回答を含む医師調査票回答者数。（無回答を除く）
 - H28前回調査は、常勤勤務医、非常勤勤務医、病院・診療所の開設者、未回答で分類されているため、比較不可。
 - H30三師統計は、医療施設・介護老人保健施設・介護医療院の従事者数データ。（左記以外の施設の従事者は含まない）
- 医師調査票は、病院を中心に配布していることから、H30三師統計と比較すると、回答者は病院勤務者が多い。
 - 病院の内訳をみると、H30三師統計が、大学病院以外：大学病院＝約73%：約27%に対し、今回調査は、約60%：約40%と大学病院の回答者が多い。



■ 病院（大学病院以外） ■ 病院（大学病院） ■ 診療所 ■ 介護老人保健施設 ■ 介護医療院等

分析対象とする病院・常勤勤務医のデータについて

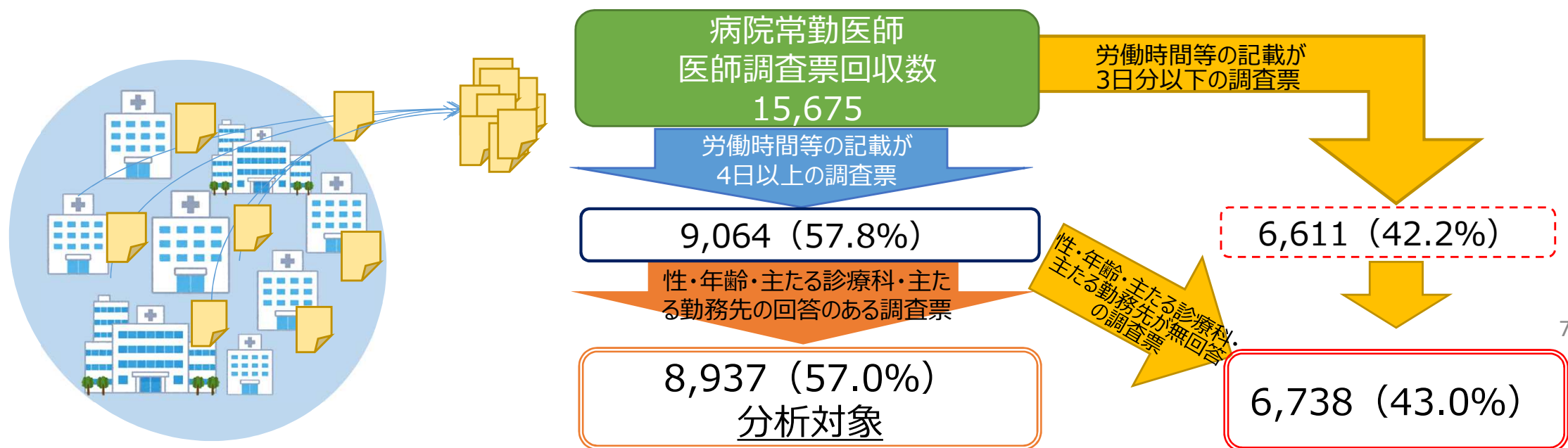
○ 本調査は病院勤務医の長時間労働の実態を把握することが主たる目的の調査であり、H28前回調査との比較を試みる必要もあることから、週4日以上働いている病院勤務医のデータについて分析を行う。なお、H28前回調査と同様、兼業先の労働時間も含めて調査を行っている。

※1 労働時間等調査項目において、7日間完遂せず、記載途中で終了したものが多し

※2 週32時間以上働く常勤医師（*）は、1日8時間労働で最低4日は出勤していると考えられることから、労働時間等調査項目に3日以上無記載の調査票を、記入を完遂していないとみなし、4日以上記載された調査票を分析対象とする

※3 性・年齢・主たる診療科・主たる勤務先が無回答の調査票もあり、これらは分析が困難である

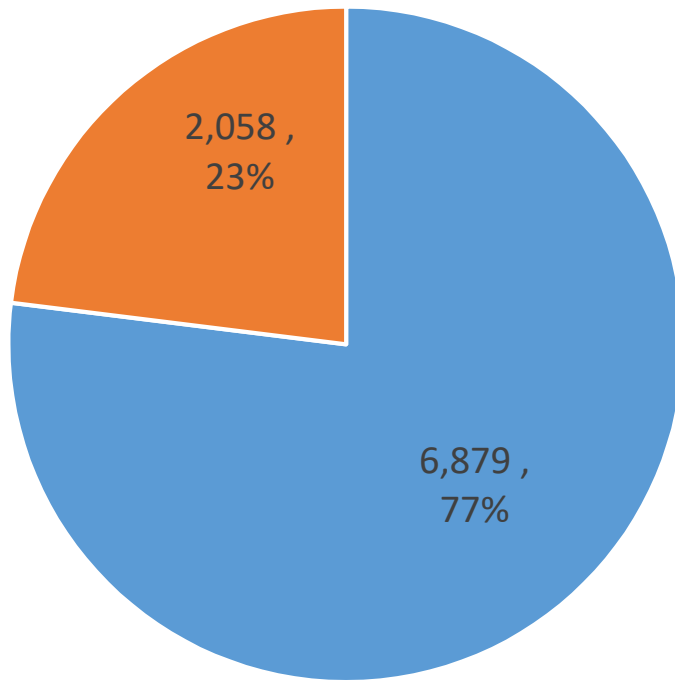
* 常勤医師の定義：医療法第25条第1項の規定に基づく立ち入り検査において常勤医師は週32時間以上働いている医師と定義



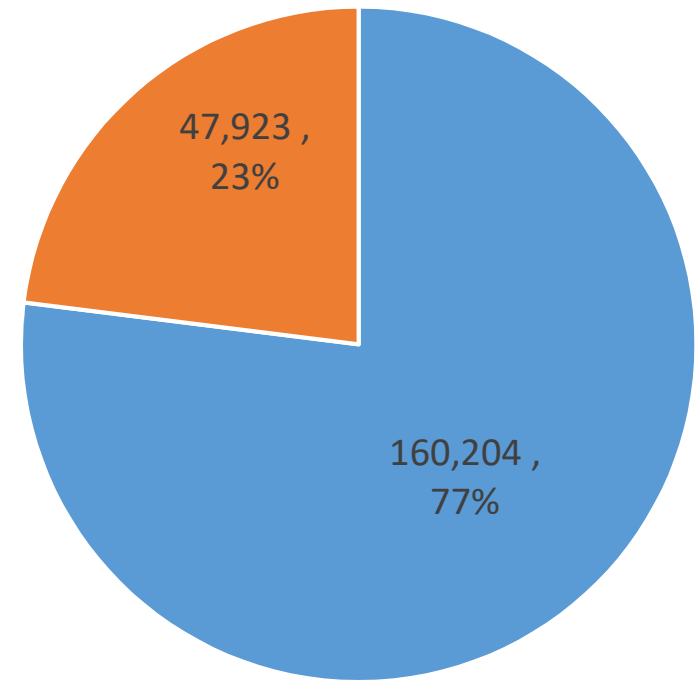
分析対象背景 性別の割合＜病院・常勤勤務医＞

- 今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
- H30三師統計は、病院従事者数データ。
- H30三師統計と性別の割合はほぼ同一。

今回調査
N=8,937



H30三師統計
N=208,127

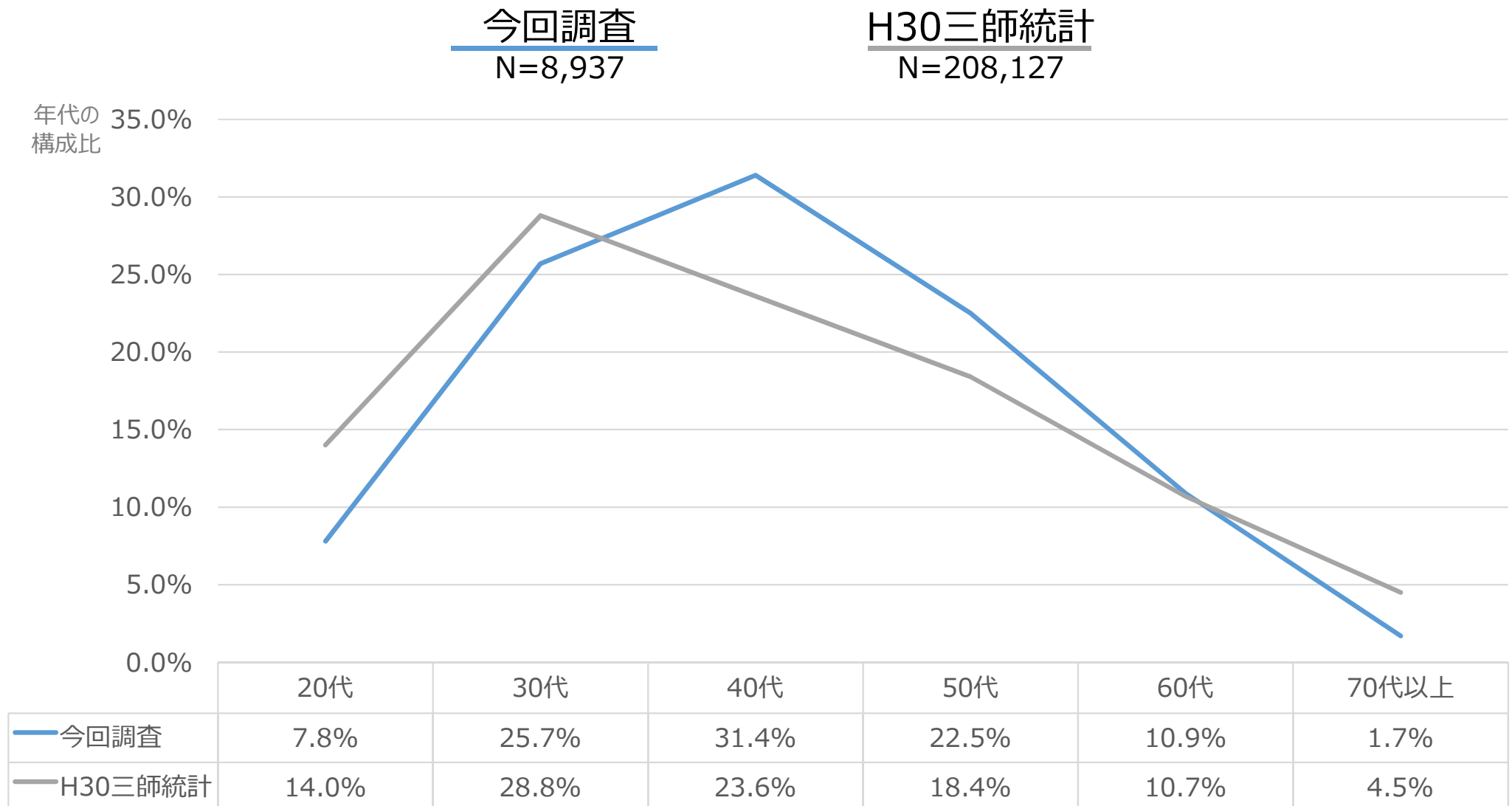


■ 男性

■ 女性

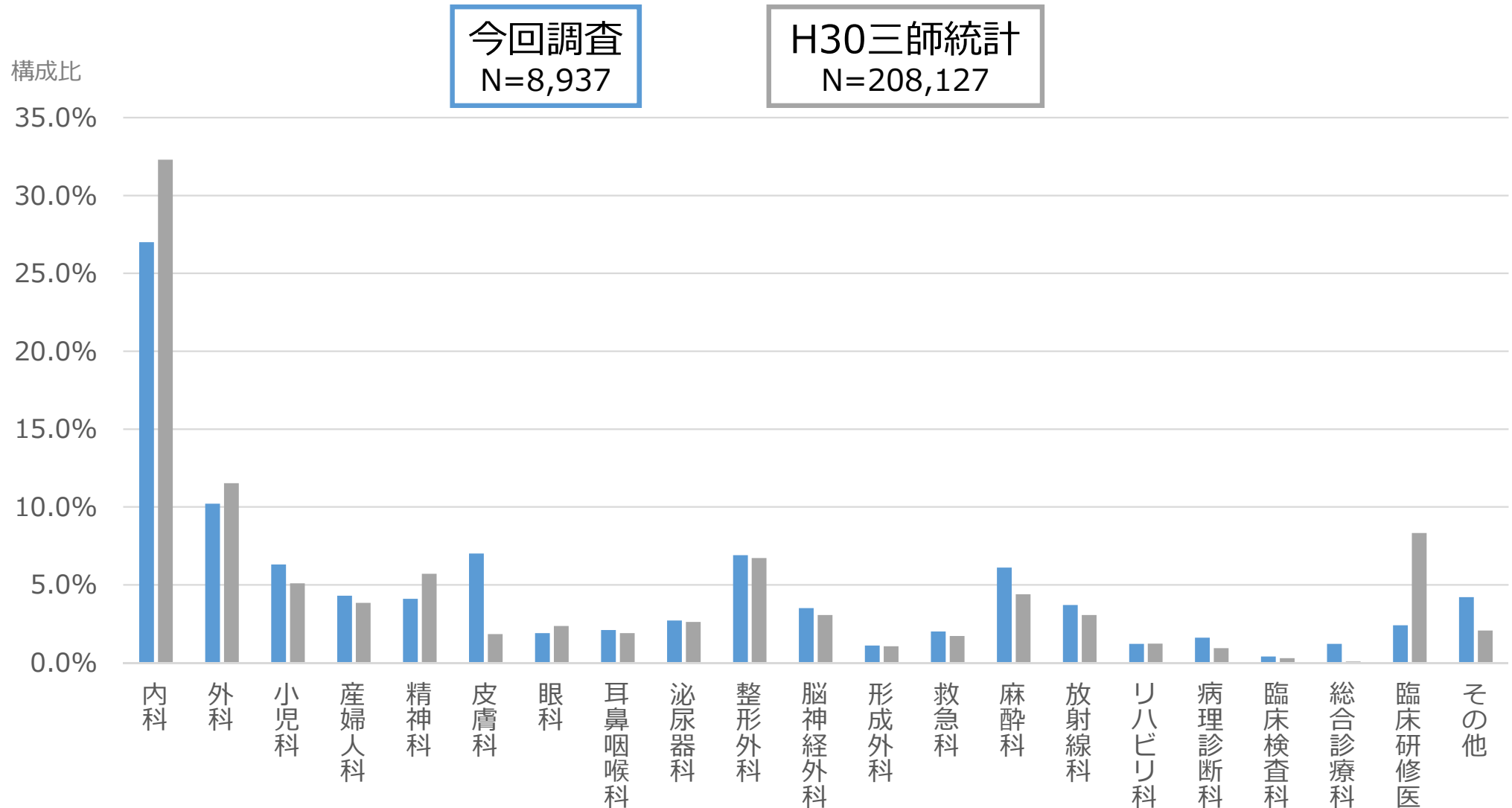
分析対象背景 年齢分布＜病院・常勤勤務医＞

- 今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
- H30三師統計は、病院従事者数データ。
- 今回調査は、H30三師統計と比較し、20代・30代が少なく、40代の回答者が多い。



分析対象背景 主たる診療科分布〈病院・常勤勤務医〉

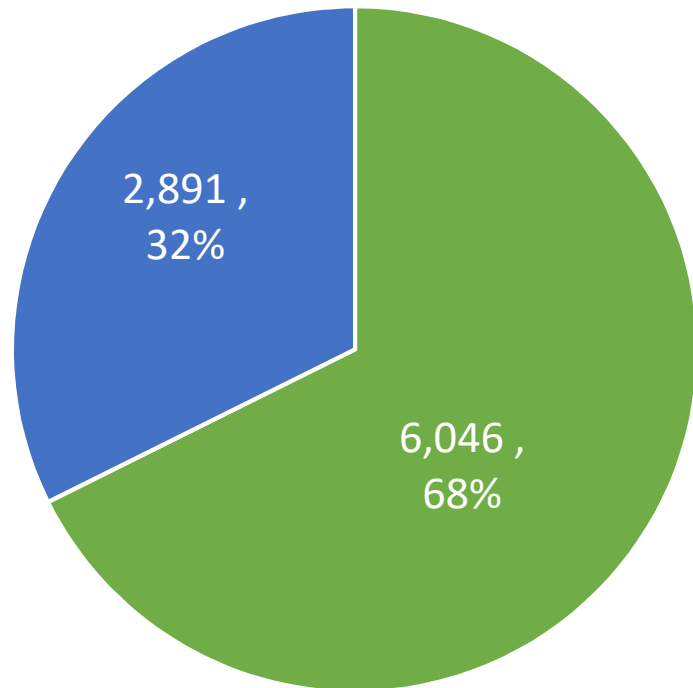
- 今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
- H30三師統計は、病院従事者数データ。
- H30三師統計の結果と比較すると、いくつかの診療科で大きなばらつきがある。



分析対象背景 主たる勤務先分布 <病院・常勤勤務医>

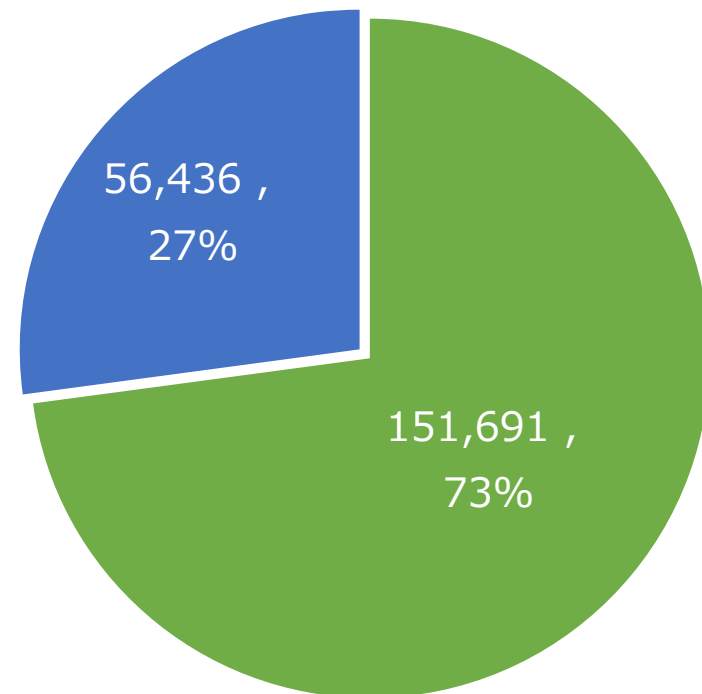
- 今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
- H30三師統計は、病院従事者数データ。
- 今回調査は、H30三師統計と比較し、大学病院の割合が多い。

今回調査
N=8,937



■ 病院（大学病院以外）

H30三師統計
N=208,127



■ 病院（大学病院）

- 分析対象とする病院勤務医のデータについて、H30三師統計と比較すると、年齢・診療科・勤務医療機関による回答者数のばらつきがある。

上記を踏まえ、

- 診療科の医師数（診療科内の性、年齢）調整
- 勤務医療機関別の医師数（診療科別の大学病院、大学病院以外）調整

が、必要。

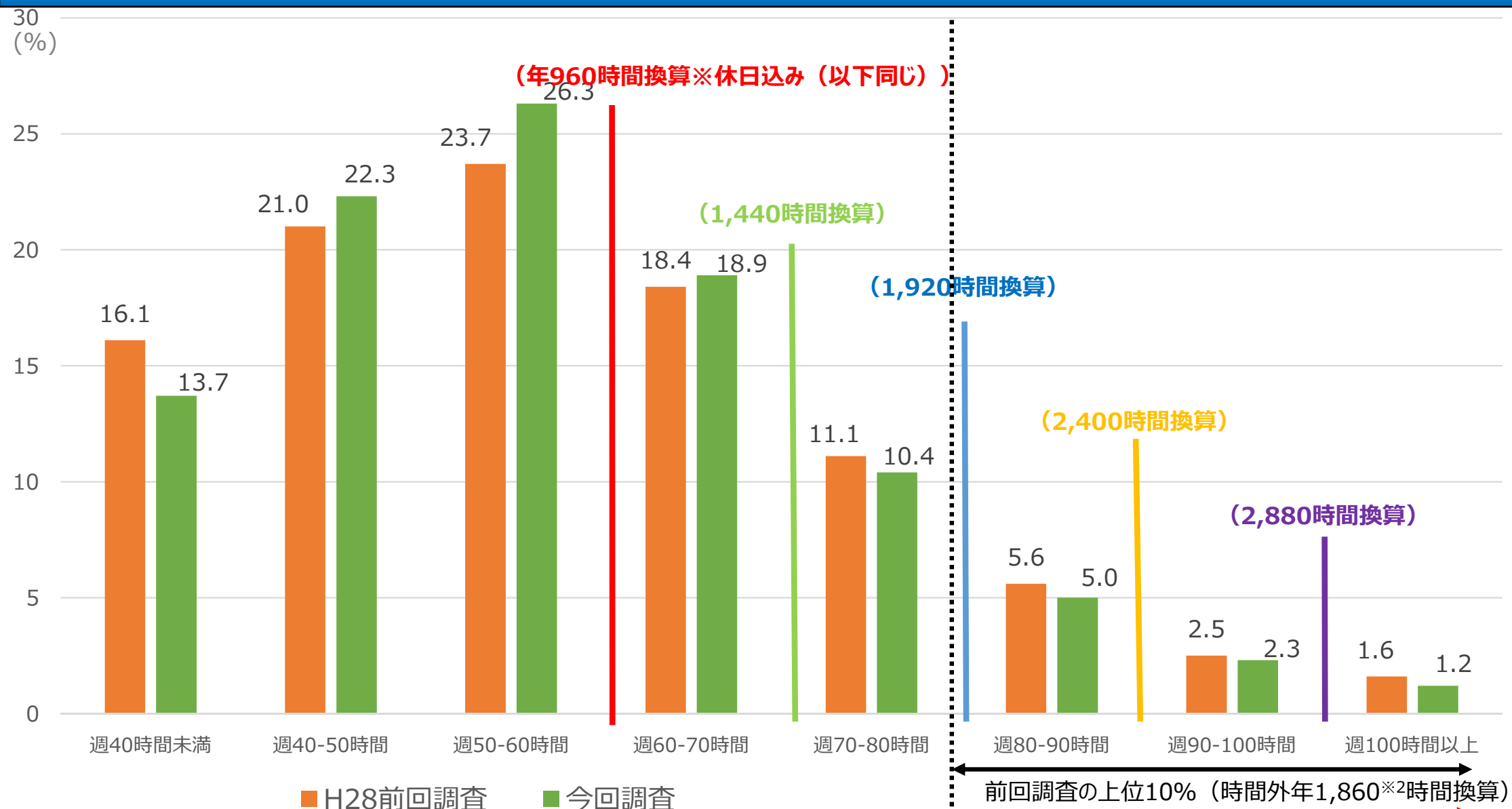
今回調査では、医療機関における宿日直許可取得の有無も設問に含めており、より精緻に労働時間を捉えるため、

- 宿日直許可を得ている医療機関に勤務する医師の宿直・日直勤務中の待機時間を労働時間から除外

する。

今回調査の分析対象調査票（回答者）の診療科別、性・年齢・勤務医療機関の構成が、「H30三師統計」の構成と同様になるように調整を行った。

病院常勤勤務医の週労働時間の区分別割合



- ※1 H28前回調査、今回調査ともに、兼業先の労働時間を含み、指示無し時間を除外している
- ※2 前回調査ではグラフにおける分布の上位10%は年1,904時間であったが、雇用管理の便宜上、12月で割り切れるきりのよい近似値として1,860時間としている
- ※3 今回調査では宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を労働時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っていることに留意が必要
- ※4 週労働時間の区分別割合は、小数点第2位で四捨五入している